

市長と語ろうタウンミーティング開催結果  
(会議録)

団体等の 名 称	加東市商工会	
開催日時	平成29年6月2日(金) 16時55分～18時20分	
開催場所	加東市庁舎 302会議室	
意見 交換者	<b>【参加者】</b> 加東市商工会 会 長 藤井 信孝 副会長 宮崎 良平 副会長 臼井 欣之 (商工会事務局) 事務局長 篠原 靖尚 業務推進課長 加藤 幸雄 業務推進課副課長 白川 健治 業務推進課課長補佐 柳 隆之	<b>【市】</b> ・市長 安田 正義 ・地域創造部長 中村 隆文 ・地域創造部商工観光課長 田中 孝明 (事務局) ・協働部企画協働課長 長谷川 茂

◆意見交換のテーマ：雇用・人材の確保について

発言者	意見交換の概要／発言内容
市	<p>就職情報サイト「マイナビ」による兵庫県外に進学した大学生対象の調査において、県内への就職希望者は62%であるが、働きたい企業がない等の理由で都市部へ人材が流出している。しかし、加東市内には優良企業が多くあり、企業のアピールができればUターンに期待ができると考えている。</p> <p>県は、兵庫県出身者が多く進学した大学へ出向いて、企業説明会を実施する取組を行っている。市は、その結果を参考にしながら、雇用対策を考えている。例えば、姫路市の地元密着型の就職支援サイトのようなものを検討している。</p>
商工会	<p>弊社では「はりまっち」を使っている。姫路市に営業所があり、利用者がある。</p>
市	<p>まず大事なものは高卒者の市内への引き止めであり、もう一つは大卒者の市内企業への就職である。特に後者については、現状、市内企業に勤める大卒者（会社の中心人物、技術者）の高齢化が進んでいるという話をよく聞く。この課題に対して、どのような施策が有効か検討していく必要がある。</p>
商工会	<p>企業によって、昔からの付き合いで近隣の高校の卒業者を採用できているところと、できていないところがある。</p>
市	<p>近隣高校の優秀な人材は、数社から就職先を選択できる状態である。</p>
商工会	<p>毎年の採用の必要がない小さい商店などの企業が多くあるのが現状である。</p>
市	<p>定期的な採用の必要がない企業については、離職した大卒者を採用できるようにならないか、と考えている。就職情報サイト「マイナビ」によると、就職して3年以内の離職率は約40%（平成25年度）である。</p>
商工会	<p>奨学金を借りて進学する人が多いので、加東市に就職などで帰ってくれば奨学金返済の補助をする制度を、市で作ってみたいかどうか。</p>
商工会事務局	<p>兵庫県に奨学金助成の制度「中小企業就業者確保支援事業」があり、若手社員の奨学金返済を支援している。ただし、補助額が返済額の3分の1で、企業も負担をすることになる。</p>
商工会	<p>商工会が中心となって、離職する情報を得て、採用したい企業とのマッチングをすれば、人材の流動化に繋がるのではないかと。</p>
商工会	<p>加東市内の企業を退職した場合、その退職者の希望する業種を聞いて、次の就職先として市内企業を紹介できれば良いのではないかと。</p>
商工会事務局	<p>職業紹介事業の許可を取得して取り組むことになるので、検討が必要である。</p>
市長	<p>離職情報の提供に企業が協力してくれるかが疑問である。個人情報の問題等が出てくるのではないかと。</p>
商工会	<p>就労支援室はどのような活動を行っているのか。市内業者を優先した雇用の施策を行っていけば良いのではないかと。</p>
商工会事務局	<p>就職相談者の希望に合ったハローワークの求人情報を提供している。</p>

市	また、就職面接や履歴書の記載の仕方などを指導している。
商工会	最近の若者は、就職に際して企業をよく研究している。 最近の傾向は、給料面よりも休暇の充実度や、ブラック企業でないことなどに重点を置いている。
商工会 事務局	市からの要望で商工会では、高校生向けの企業見学ツアーの実施を検討中である。市内の企業のことが記憶に残って、市内への就職に繋がることを目的として実施する。
商工会	ハローワークの求人で、女性の事務員の情報がほとんどない。女性にとって働く場所がない。
市	逆に考えれば、女性にとって働き続けることができる企業が多いと考えられるのではないか。
市	婚活の施策でも同じことであるが、市内の雇用に関して、親御さんの意識付けは重要であり、その子どもの考え方に大きく影響を与えていると考えている。
市	現状、首都圏の一極集中が進んでいる中、地域で住んで働いていく価値観の意識付けが重要である。地元に残るといった選択が、地域貢献に繋がるというライフスタイルを認めていってもらう意識づくりが必要であり、次期総合計画の内容にも反映させる必要があるのではないか。
商工会	最近の若者は、お金がかからない生活を望んでおり、親元に残りたがる傾向があるので、その風潮を利用して施策を展開すれば、良い方向に向かうと思う。
商工会	魅力ある企業となる努力が、市内業者には必要であるし、魅力ある企業があるという情報を、発信していかなければならない。
市	市内には、小さくても優良な企業がたくさんある。
市長	特に高卒の進路指導において、労働経験のある親の意見は子どもに対して大きな影響を与えるであろう。そのため、企業見学バスツアーなどの取組では、親子で参加をしてもらうと効果的である。
市	今年の夏休みに、市が市内の工場の施設見学を実施する。市内在住・在学の小学5年生から中学3年生とその保護者が対象である。
商工会	まだまだ世間は、加東市の良さをわかっていないのではないか。高速道路のインターがあつて交通網が整備されており、優良な企業も多くある。若いときこそ田舎暮らしが良いのではないか。 加東市の良いところを、もっとアピールしていくことが重要である。